

学科名	建築・デザイン学科						
科目名	設備設計演習						
科目区分	専門科目	単位数	2単位	開講時期	3年次後期		
必修・選択の別	必須科目／(建築工学コース) 選択科目／(建築コース)						
担当者	齋藤健二						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築設備設計図の基本的事項を理解し、説明できる。</li> <li>・建築設備と建築躯体との関連、納まりについて理解し、説明できる。</li> <li>・機器容量、設備容量の計算ができる。</li> <li>・設備設計図を作成することにより、意図している建築設備内容を表現することができる。</li> </ul>						
日程と内容	9月18日 9月25日 10月2日 10月9日 10月16日 10月23日 10月30日 11月6日 11月13日 11月20日 11月27日 12月4日 12月11日 12月18日 1月8日	第1回:導入講義:授業の進め方と概要の説明、成績評価法 第2回:建築設備図作成の基礎、建築躯体図の裏トレース 第3回:建築躯体図の裏トレース 第4回:給水配管図、排水配管図の作成 第5回:便所詳細図の作成 第6回:給水管径、排水管径の決め方 第7回:空調負荷計算の仕方 第8回:空調負荷計算書の作成 第9回:空調機器の選定 第10回:空調機器配置図の作成 第11回:空調機器配置図の作成 第12回:空調配管図の作成、換気図の作成 第13回:機器表の作成 第14回:省エネルギーについて 第15回:まとめ					
成績評価基準	定期試験 臨時試験 報告書・レポート 課題 演習	100%	実技 部外評価 プレゼンテーション	計	100%		
授業到達目標の達成度	負荷計算書については自分で作成せずに、友人の負荷計算書をコピーして提出した学生が数人いた。製図についてもフリーハンドで描画している学生が多く、課題作成の達成度は今一歩であった。						
反省点	最終的な完成図を参考資料として学生に配布しているが、ほとんどの学生がこの図面をコピーしているのが実情である。 自分で設計し、それを図面として表すことを学んでほしかった。						
来年度の計画	今年度で私の授業は終了である。						
授業評価アンケートに対するコメント	今年度の授業評価は全科目平均値に近い値となり、過去の評価の中で最も上位となった。学生が満足する授業を実現するのはなかなか難しいことを実感した。						
履修登録者数	31名	定期試験 受験者数	29名	合格者数	29名	合格率	100%